



鶴岡信用金庫

第188回
中小企業の

景気動向

2021年4月～6月



2021年4月～6月期の景気の現状と7月～9月期の見通し

特別調査「中小企業の事業継続について」

目次

- P01 概況
- P03 製造業
- P05 建設業
- P07 卸売業
- P09 小売業
- P11 サービス業
- P13 不動産業
- P15 参考資料
- P17 特別調査

凡例

1. 調査の目的 経済情勢の変化が激しい経営環境下における企業活動の実態をとらえ、今後の企業経営の資料として活用する。
2. 調査時点 2021年7月1日～7日
3. 調査内容 (イ) 業況判断 (今期の業況・来期の予想) (ロ) 売上・収益・価格の動き (ハ) 経営上の問題点 (ニ) 当面の重点経営施策
4. 調査先・業種と企業数 (庄内地区の中小企業のうち、当金庫取引先を主とした企業168社から、当金庫営業店の職員が共通の調査表に基づき聞き取りによる調査を実施したものです)
・製造業32社・小売業48社・建設業31社・サービス業26社・卸売業20社・不動産業9社
5. 分析方法 各質問項目について「良い(増加)・悪い(減少)」の構成比の差=判断指数・DI値を中心にして分析を行った。

業況判断
天気図

【悪い】←



～▲30



～▲20



～▲10



～0～



+10～



+20～



+30～

→【良い】

2021年4月～6月期の景気の現状と7月～9月期の見通し

回答企業166企業（回答率100%）の調査結果

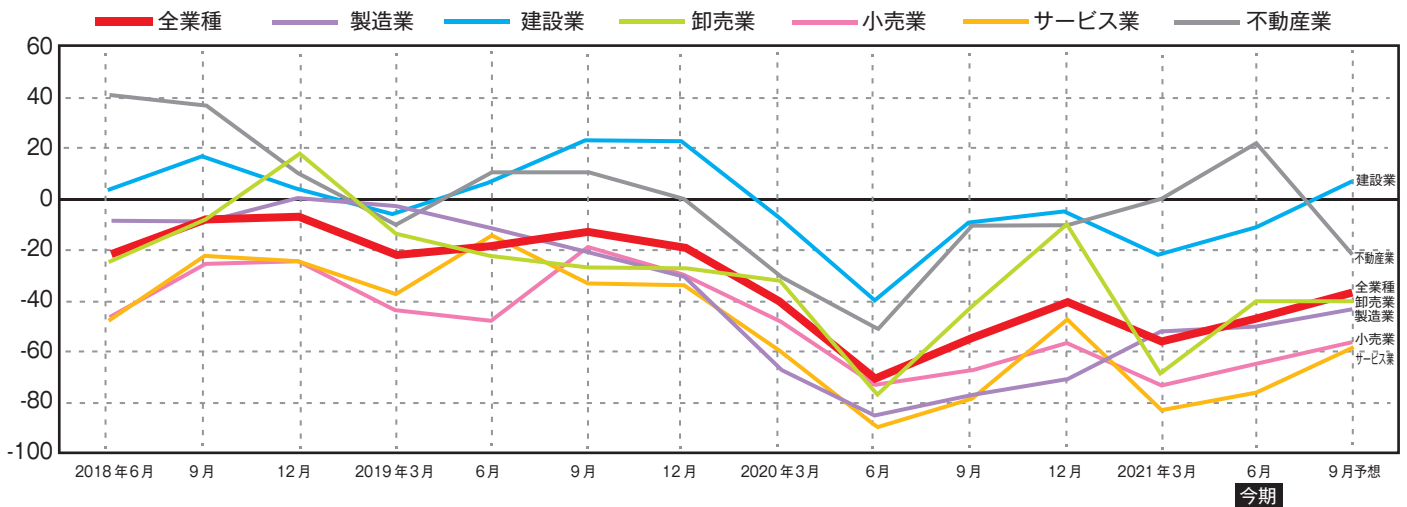
概況判断

景況感の悪化幅が改善した

庄内地域調査対象166企業の2021年4月～6月期の業況は、「**良い**」と回答した企業の割合が10.8ポイント、「**悪い**」と回答した企業の割合は56.6ポイントで、業況判断指数・DI値（「**良い**」-「**悪い**」）は▲45.8となり、前期（2021年1月～3月期 ▲57.8）に比べ12.0ポイントマイナス幅が縮小しました。

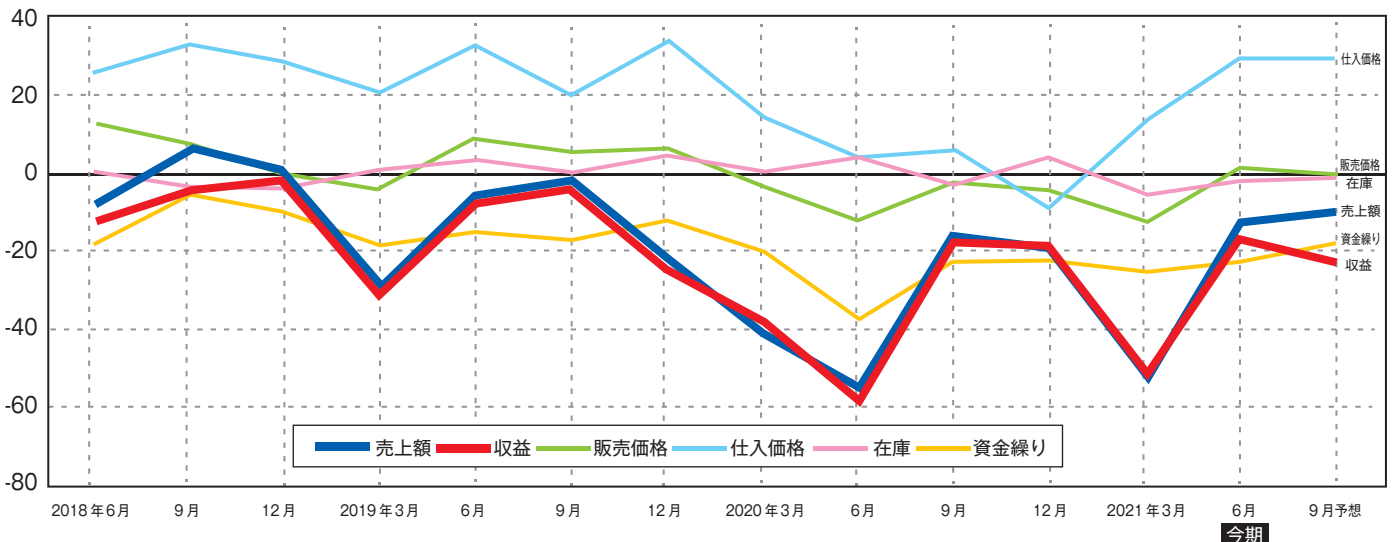
業種別の業況判断指数・DI値（前期比）は、製造業▲50.0、建設業▲9.6、卸売業▲40.0、小売業▲64.6、サービス業▲77.0、不動産業22.2となり、全業種の悪化幅が改善しました。また、不動産業の業況は好調に転じました。

業況判断 [DI] 全業種



売上・収益・価格等の状況

調査対象全業種において、「**売上額**」、「**収益**」が前期に比べ改善しました。業種別の対前期比売上額では、製造業がDI前期比+20.3、建設業同+42.0、卸売業同+45.0、小売業同+43.8、サービス業同+53.9、不動産業同+3.3であり、建設業は減少から増加に転じました。業種別の対前期比収益は、製造業がDI前期比+14.1、建設業同+42.0、卸売業同+50.0、小売業同+41.7、サービス業同+42.3、不動産業同▲6.7となり、不動産業のプラス幅が縮小したものの、他業種の全てが前期に比べ悪化幅が改善しました。

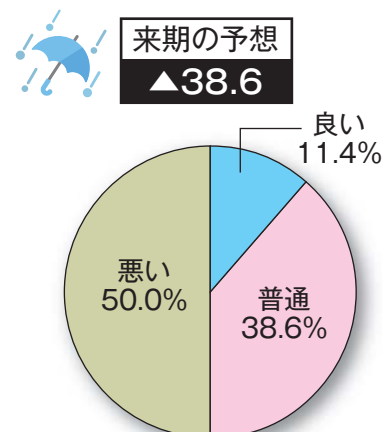
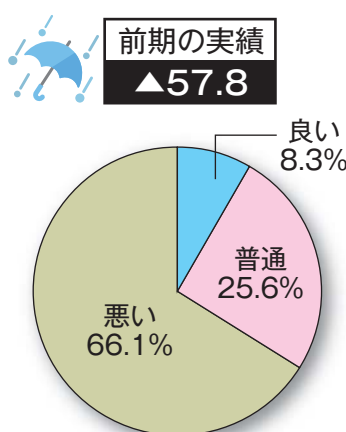
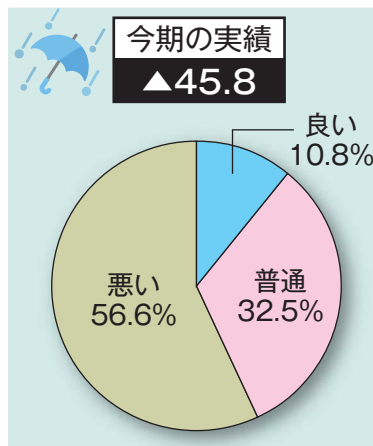


庄内地域調査対象 166 企業の 2021 年 7 月～9 月期の業況見通しは、「良い」と回答した企業の割合が 11.4 ポイント、「悪い」と回答した企業の割合は 50.0 ポイントで、業況判断指数・D I 値（「良い」-「悪い」企業割合）は▲38.6 となり、今期（2021 年 4～6 月期▲45.8）に比べ 7.2 ポイント改善し、来期の景況感悪化幅が縮小すると見通しています。

業種別の対前期比予想業況判断指数は、製造業が D I 値前期比 +6.2、建設業同 +16.1、卸売業同 ±0.0、小売業同 +8.3、サービス業同 +19.3、不動産業同▲22.2 となり、不動産業の業況は悪化幅が拡大するも、建設業の業況は好転し、製造業・小売業・サービス業の業況についてもマイナス幅が改善すると見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

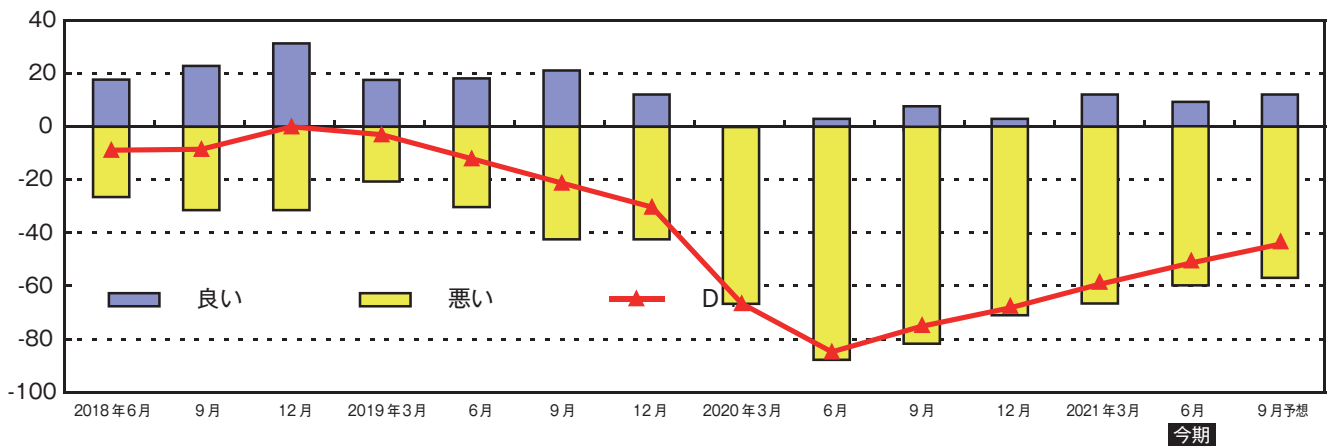
(業況判断 総合)



(%)

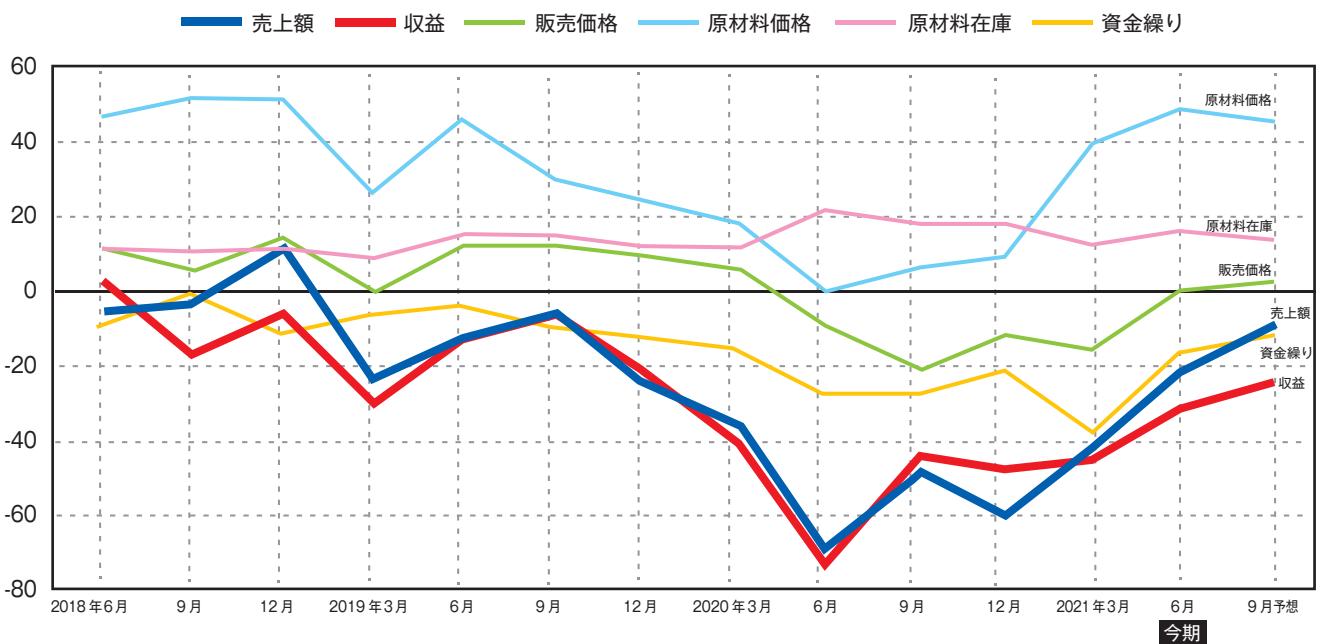
		今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較
業況判断 総合		▲45.8	▲57.8	+12.0	▲38.6	+7.2	▲70.4	-24.6
内訳	良い	10.8	8.3	+2.5	11.4	+0.6	4.2	-6.6
	普通	32.5	25.6	+6.9	38.6	+6.1	21.3	-11.2
	悪い	56.6	66.1	-9.5	50.0	-6.6	74.6	+18.0
売上額		▲15.1	▲53.0	+37.9	▲10.8	+4.3	▲55.0	-39.9
収益		▲18.1	▲52.4	+34.3	▲21.6	-3.5	▲57.3	-39.2
販売(請負)価格 料金		0.6	▲13.0	+13.6	▲0.6	-1.2	▲11.8	-12.4
仕入・原材料価格		28.3	13.7	+14.6	28.9	+0.6	4.7	-23.6
在庫		▲1.4	▲4.2	+2.8	▲1.4	0.0	4.2	+5.6
内訳	過剰	10.7	9.9	+0.8	9.3	-1.4	16.9	+6.2
	適正	77.1	76.1	+1.0	80.0	+2.9	70.4	-6.7
	不足	12.1	14.1	-2.0	10.7	-1.4	12.7	+0.6
資金繰り		▲22.3	▲25.6	+3.3	▲19.3	+3.0	▲36.7	-14.4
残業時間		▲14.5	▲20.8	+6.3	▲3.0	+11.5	▲40.8	-26.3
人手		▲15.7	▲3.2	-12.5	▲18.7	-3.0	▲3.5	+12.2
設備投資		▲16.6	▲14.0	-2.6	▲16.6	0.0	▲12.5	+4.1
内訳	過剰	4.4	6.3	-1.9	5.7	+1.3	5.7	+1.3
	適正	74.5	73.4	+1.1	72.0	-2.5	76.1	+1.6
	不足	21.0	20.3	+0.7	22.3	+1.3	18.2	-2.8

概況判断 業況の悪化幅がやや改善した。



今期の業況判断は、「良い」と回答した企業の割合が9.4ポイント、「悪い」と回答した企業は59.4ポイントで、業況D I(「良い」－「悪い」)は▲50.0となり、前期(▲54.6)に比べ4.6ポイントマイナス幅が改善しました。来期(2021年7～9月)の予想D Iは▲43.8で、今期に比べマイナス幅が6.2ポイント縮小し、業況の悪化幅はやや改善すると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



前期(2021年1～3月)に比べ、「売上額」、「収益」とともにマイナス幅が改善しました。また、「販売価格」は水面下を脱するも「原材料価格」の上昇幅は引き続き拡大しました。「原材料在庫」は過剰感がやや拡大し、「資金繰り」の窮屈感は緩和しました。

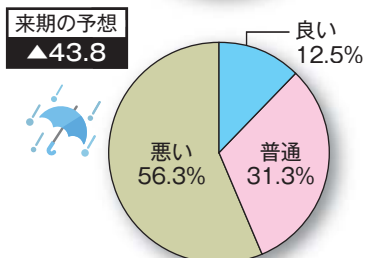
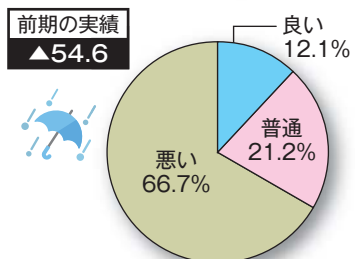
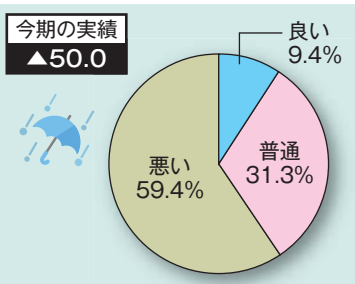
来期の見通し

来期(2021年7月～9月)は、「売上額」と「収益」のマイナス幅は改善すると見通しています。また、「販売価格」は上昇し、「原材料価格」については今期に比べやや改善すると見通しています。「原材料在庫」は過剰感がやや弱まると見通しており、資金繰りについても引き続き窮屈感が緩和すると見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)

(%)



	今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較	
業況判断 総合	▲50.0	▲54.6	+4.6	▲43.8	+6.2	▲84.9	-34.9	
内訳	良い	9.4	12.1	-2.7	12.5	+3.1	3.0	-6.4
	普通	31.3	21.2	+10.1	31.3	0.0	9.1	-22.2
	悪い	59.4	66.7	-7.3	56.3	-3.1	87.9	+28.5
売上額	▲22.0	▲42.3	+20.3	▲9.4	+12.6	▲69.7	-47.7	
受注残	▲21.8	▲33.3	+11.5	▲6.3	+15.5	▲66.6	-44.8	
収益	▲31.3	▲45.4	+14.1	▲25.0	+6.3	▲72.7	-41.4	
販売(請負)価格	0.0	▲15.2	+15.2	3.1	+3.1	▲9.1	-9.1	
仕入価格・原材料価格	50.0	39.4	+10.6	46.9	-3.1	0.0	-50.0	
在庫	15.7	12.1	+3.6	12.5	-3.2	21.2	+5.5	
内訳	過剰	18.8	21.2	-2.4	15.6	-3.2	27.3	+8.5
	適正	78.1	69.7	+8.4	81.3	+3.2	66.7	-11.4
	不足	3.1	9.1	-6.0	3.1	0.0	6.1	+3.0
資金繰り	▲15.7	▲36.4	+20.7	▲12.5	+3.2	▲27.2	-11.5	
残業時間	▲9.4	▲30.3	+20.9	▲3.1	+6.3	▲63.6	-54.2	
人手	▲6.2	3.0	-9.2	▲12.5	-6.3	6.0	+12.2	
設備投資	▲9.4	▲6.0	-3.4	▲12.5	-3.1	▲12.1	-2.7	
内訳	過剰	12.5	18.2	-5.7	9.4	-3.1	9.1	-3.4
	適正	65.6	57.6	+8.0	68.8	+3.2	69.7	+4.1
	不足	21.9	24.2	-2.3	21.9	0.0	21.2	-0.7

経営上の問題点・重点施策

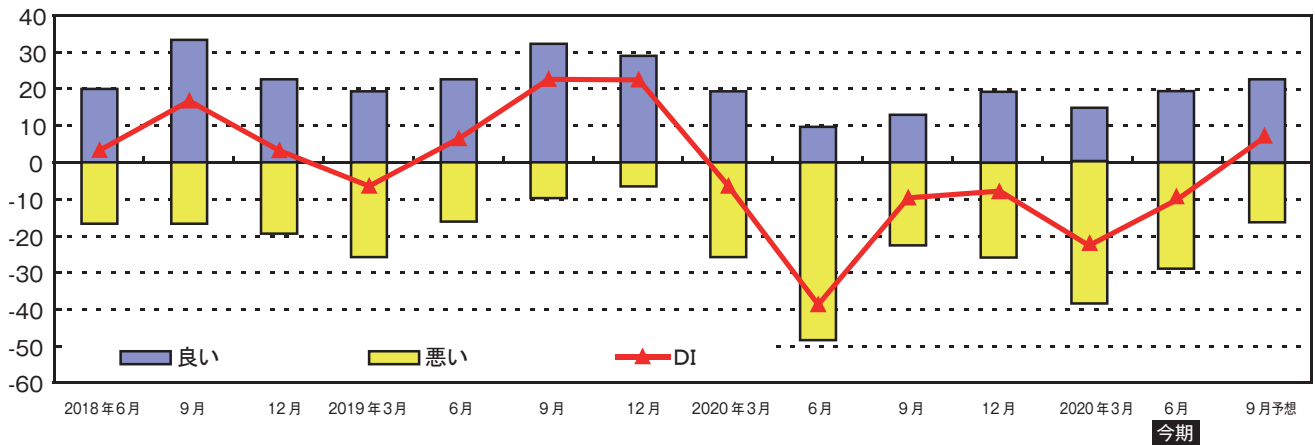
	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	72.7	78.1
2	原材料高	21.2	34.4
3	利幅の縮小	24.2	25.0
3	工場の狭小・機械の老朽化	21.2	25.0
5	同業者間の競争激化	21.2	15.6

	項目	前期	今期
1	販路を広げる	60.6	50.0
2	経費を節減する	54.5	34.4
3	人材を確保する	24.2	28.1
4	新製品・技術を開発する	18.2	25.0
5	情報力を確保する	21.2	21.9

調査員のコメント

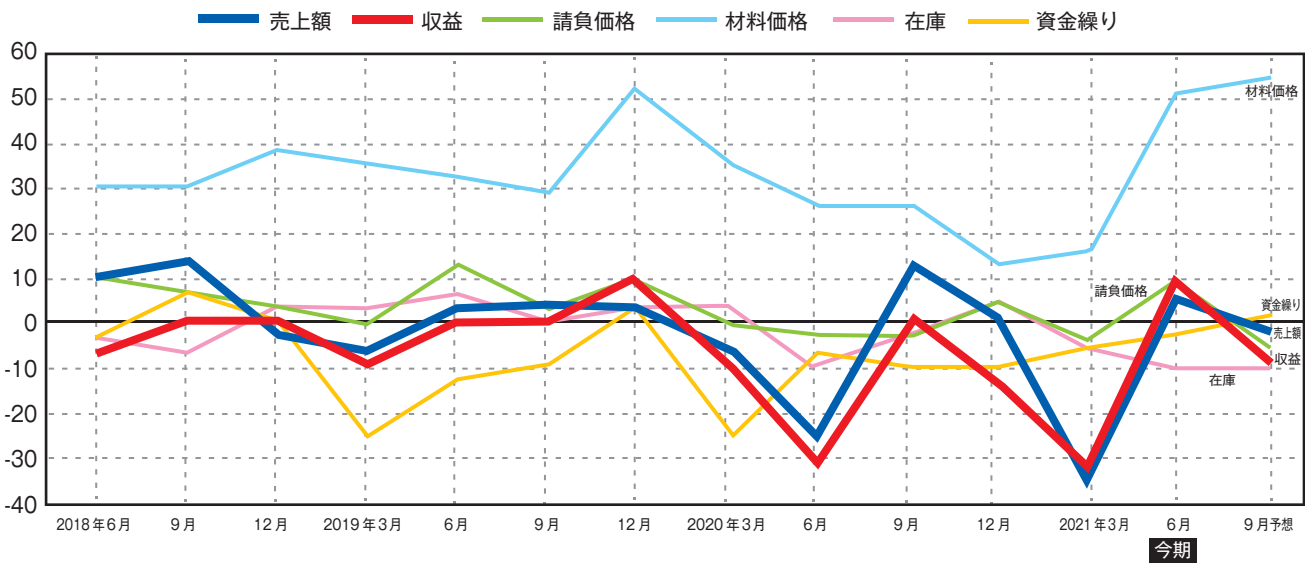
- メインである産業用機械の受注が回復傾向にあり、売上高全体でも若干ではあるが増加している。長年課題であった人員不足も解消した。今後は新入社員への技術指導と職場環境の改善に努めていく方針です。(その他製造業)
- 現状では加工食品の需要が増加しており、比較的安定した利益を確保することが出来ている。また、夏の中元商品の製造も始まり生産体制はフル稼働になっている。今後は、利益率の高い高級ハムなどの販路拡大が課題となっている。(食料品製造業)
- 主要部門の1つである保冷ボックス事業について、新型コロナウイルス感染拡大による巣ごもり需要や新型コロナウイルスワクチンの運搬・保管用としての受注が加わり、予想以上の販売に繋がっている。新たにWebショップも開設し、販路の拡大に注力している。(その他の製造業)
- 定年によるベテラン工員の退職が相次ぎ生産能力の落込みが課題となっている。新入行員の確保は順調に出来たが、一人当たりの生産能力についてベテラン職員と比較し、大きな差が生じている。今後、人材育成を強力に進め、生産力確保に努めていく。(電気機械器具製造業)

概況判断 業況判断指数の悪化幅が改善した。



今期の業況判断は、「良い」と回答した企業の割合が19.4ポイント、「悪い」と回答した企業の割合は29.0ポイントで、業況DI（「良い」－「悪い」）は▲9.6となり、前期（▲22.6）に比べ13.0ポイントマイナス幅が縮小しました。来期（7～9月）の予想DIは6.5で、今期に比べ16.1ポイントプラス幅が拡大し、業況は好調に転じると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



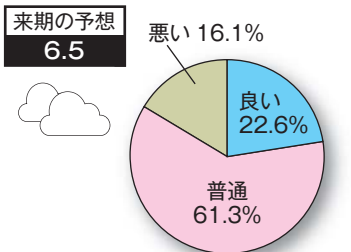
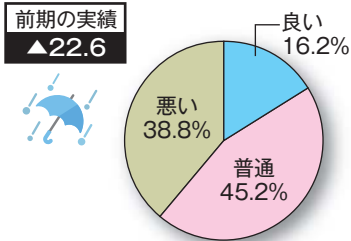
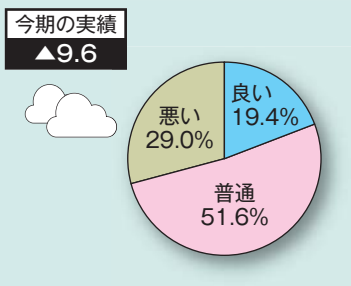
前期（2021年1～3月）に比べ、「売上額」・「収益」・「請負価格」共に水面下を脱し好転した。しかし「材料価格」の上昇幅は大きく拡大しました。在庫については品薄が拡大し、資金繰りの窮屈感は改善しました。

来期の見通し

来期（2021年7～9月）は、「売上額」・「収益」・「請負価格」共に減少に転じ、水面下に落ち込みすると見通しています。「在庫」については品薄の状況は改善しないと見通しており、資金繰りについては、窮屈感を脱すると見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較
業況判断 総合		▲9.6	▲22.6	+13.0	6.5	+16.1	▲38.7	-29.1
内訳	良い	19.4	16.2	+3.2	22.6	+3.2	9.7	-9.7
	普通	51.6	45.2	+6.4	61.3	+9.7	41.9	-9.7
	悪い	29.0	38.8	-9.8	16.1	-12.9	48.4	+19.4
売上額		6.5	▲35.5	+42.0	▲3.1	-9.6	▲25.8	-32.3
受注残		16.1	▲35.5	+51.6	▲3.2	-19.3	▲25.8	-41.9
施工高		19.3	▲29.1	+48.4	0.0	-19.3	▲25.9	-45.2
収益		9.8	▲32.2	+42.0	▲9.7	-19.5	▲32.2	-42.0
請負価格		9.7	▲3.3	+13.0	▲6.5	-16.2	▲3.2	-12.9
材料価格		51.6	16.1	+35.5	54.8	+3.2	25.8	-25.8
在庫		▲9.7	▲6.5	-3.2	▲9.7	0.0	▲9.7	0.0
内訳	過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適正	90.3	93.5	-3.2	90.3	0.0	90.3	0.0
	不足	9.7	6.5	+3.2	9.7	0.0	9.7	0.0
資金繰り		▲3.2	▲6.5	+3.3	0.0	+3.2	▲6.5	-3.3
残業時間		▲16.2	0.0	-16.2	12.9	+29.1	▲38.8	-22.6
人手		▲45.2	▲45.1	-0.1	▲54.8	-9.6	▲19.3	25.9
設備投資		▲6.5	▲3.2	-3.3	▲9.6	-3.1	▲3.2	+3.3
内訳	過剰	3.2	6.5	-3.3	6.5	+3.3	6.5	+3.3
	適正	87.1	83.9	+3.2	77.4	-9.7	83.9	-3.2
	不足	9.7	9.7	0.0	16.1	+6.4	9.7	0.0

経営上の問題点・重点施策

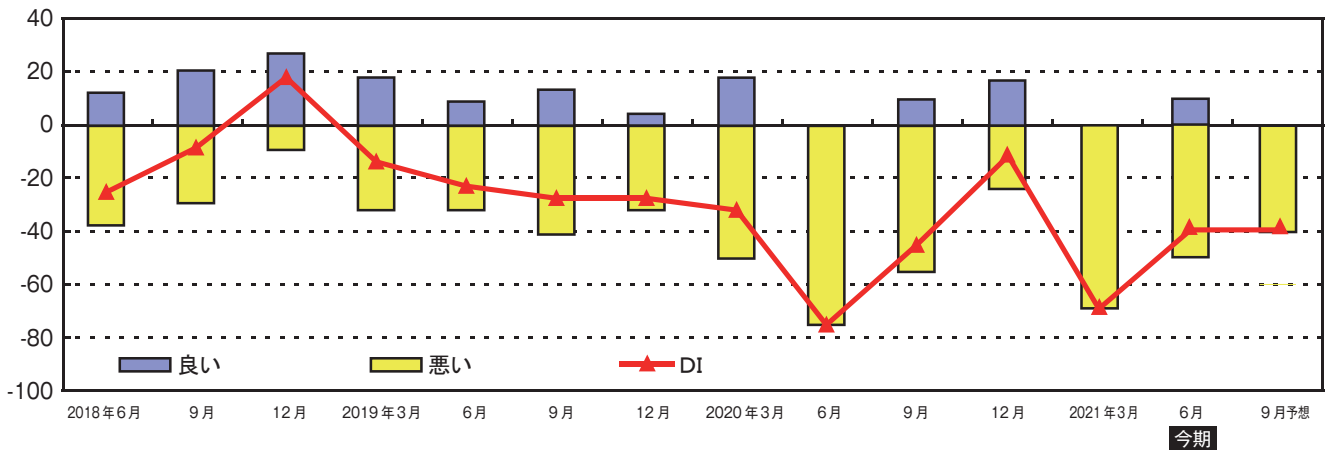
順位	項目	前期	今期
1	人手不足	41.9	41.9
2	売上の停滞・減少	41.9	38.7
3	同業者間の競争激化	22.6	35.5
3	材料価格の上昇	6.5	35.5
5	利幅の縮小	22.6	25.8

順位	項目	前期	今期
1	人材を確保する	45.2	54.8
2	情報力を強化する	35.5	41.9
2	技術力を高める	51.6	41.9
4	販路を広げる	41.9	35.5
5	経費を節減する	29.0	32.3

調査員のコメント

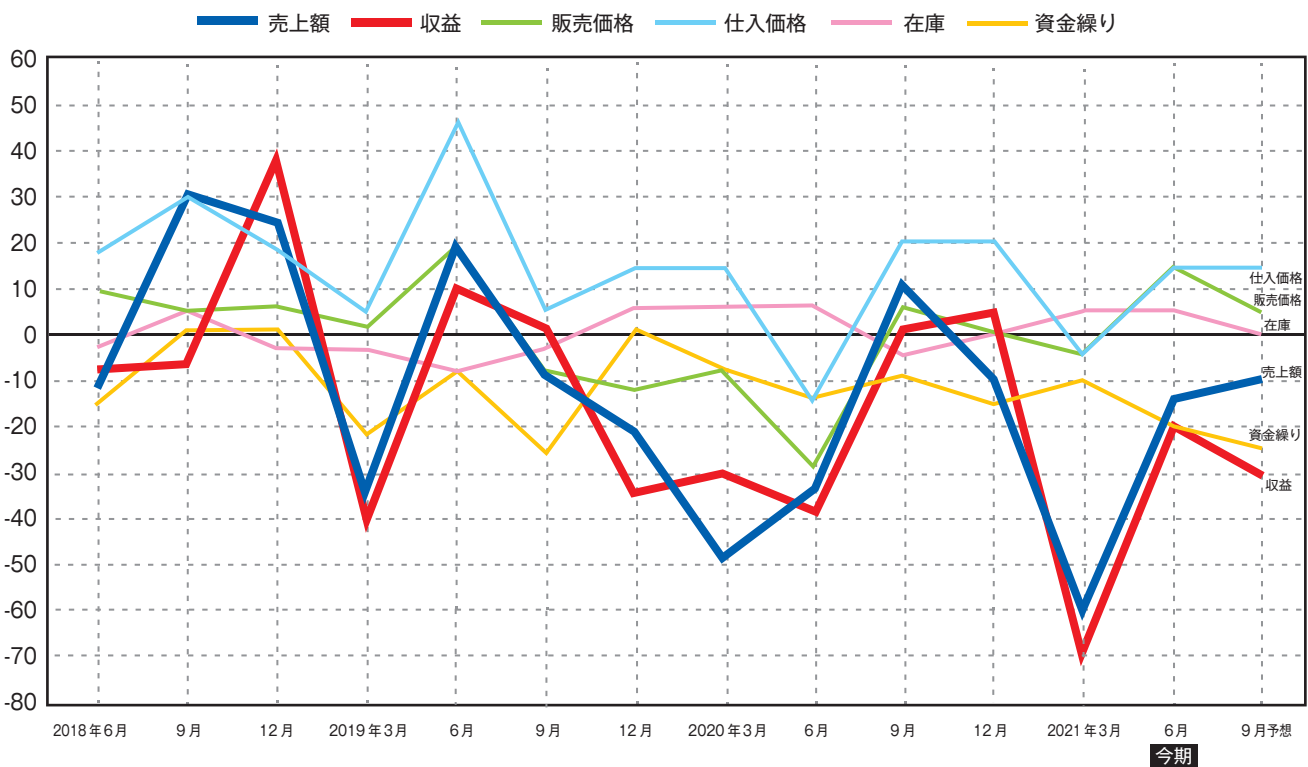
- 受注工事の割合が公共事業から民間企業・個人顧客へ移行しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響も殆どなく堅調な受注で推移している。但し、仕入材料の値上がり、スタッフの高齢化による人材確保が課題となっている。また、事業継続のための職場環境の改善を行う予定です。（設備工事業）
- 今年に入り新型コロナウイルス感染拡大の影響も少なく、受注高は増加し、売上高・収益ともに回復傾向にある。受注工事の増加により、人材不足や下請け企業不足の問題が表面化しており、社内体制の見直しや人材確保、従業員の技術力向上を近々の社内課題として検討している。（総合工事業）
- 地域内同業者で「人材不足」が共通の課題となっており、自社の優秀な人材が他社に流出する事例が多くなってきている。人材流失防止策として各社ともに待遇改善を検討しているが、原材料費の上昇に加え人件費の増加が懸念される。（総合工事業）
- 建築用木材が不足しており、仕入価格の先行きも高騰が予想される。県外同業社の鶴岡参入もあり、今後はこれまでに以上に原価管理や営業力の強化が求められると見通している。（総合工事業）

概況判断 業況の悪化幅が縮小した。



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業の割合は10.0ポイント、「**悪い**」と回答した企業の割合は50.0ポイントで、業況DI(「**良い**」－「**悪い**」)は▲40.0となり、前期(▲70.0)に比べ30.0ポイントマイナス幅が縮小し、業況はマイナスながら改善しました。来期(2021年7～9月)の予想DIは▲40.0で、今期と同率になるも、「悪い」と予想する企業の割合が10ポイント減少すると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



前期(2021年1月～3月)に比べ、「**売上額**」、「**収益**」共にマイナスながら大きく改善しました。「**販売価格**」は下降から上昇に転じ、「**仕入価格**」も同様に下降から上昇に転じました。「**在庫**」については、在庫過多が継続しており、「**資金繰り**」の窮屈感は強まりました。

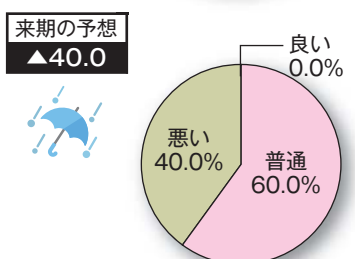
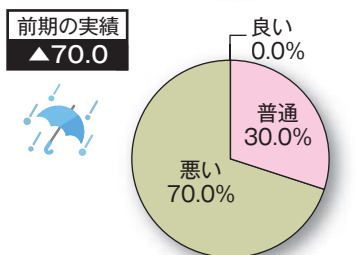
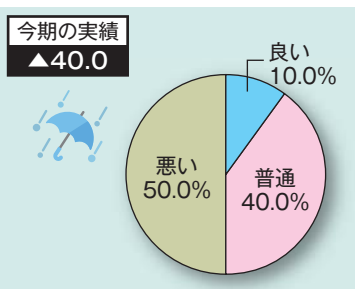
来期の見通し

来期(2021年7月～9月)は、「**売上額**」の減少幅は縮小するも「**収益**」は減少幅が拡大すると見通しています。「**販売価格**」の上昇幅は弱まるものの、「**仕入価格**」の上昇は続く見通しています。また、来期は「**在庫**」の過多が解消するも、「**資金繰り**」の窮屈感は拡大すると見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)

(%)



	今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較
業況判断 総合	▲40.0	▲70.0	+30.0	▲40.0	0.0	▲75.0	-35.0
内訳	良い	10.0	0.0	+10.0	0.0	0.0	-10.0
	普通	40.0	30.0	+10.0	60.0	25.0	-15.0
	悪い	50.0	70.0	-20.0	40.0	75.0	+25.0
売上額	▲15.0	▲60.0	+45.0	▲10.0	+5.0	▲35.0	-20.0
収益	▲20.0	▲70.0	+50.0	▲30.0	-10.0	▲40.0	-20.0
販売価格	15.0	▲5.0	+20.0	5.0	-10.0	▲30.0	-45.0
仕入価格	15.0	▲5.0	+20.0	15.0	0.0	▲15.0	-30.0
在庫	5.0	5.0	0.0	0.0	-5.0	5.0	0.0
内訳	過剰	15.0	15.0	0.0	10.0	15.0	0.0
	適正	75.0	75.0	0.0	80.0	75.0	0.0
	不足	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0
資金繰り	▲20.0	▲10.0	-10.0	▲25.0	-5.0	▲15.0	+5.0
残業時間	0.0	▲25.0	+25.0	▲10.0	-10.0	▲15.0	-15.0
人手	▲5.0	10.0	-15.0	▲5.0	0.0	▲5.0	0.0
設備投資	▲20.0	▲15.0	-5.0	▲20.0	0.0	▲25.0	-5.0
内訳	過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適正	80.0	85.0	-5.0	80.0	75.0	-5.0
	不足	20.0	15.0	+5.0	20.0	25.0	+5.0

経営上の問題点・重点施策

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	80.0	65.0
2	利幅の縮小	30.0	25.0
2	人件費の増加	10.0	25.0
4	仕入先からの値上げ要請	10.0	20.0
5	同業者間の競争激化	20.0	15.0

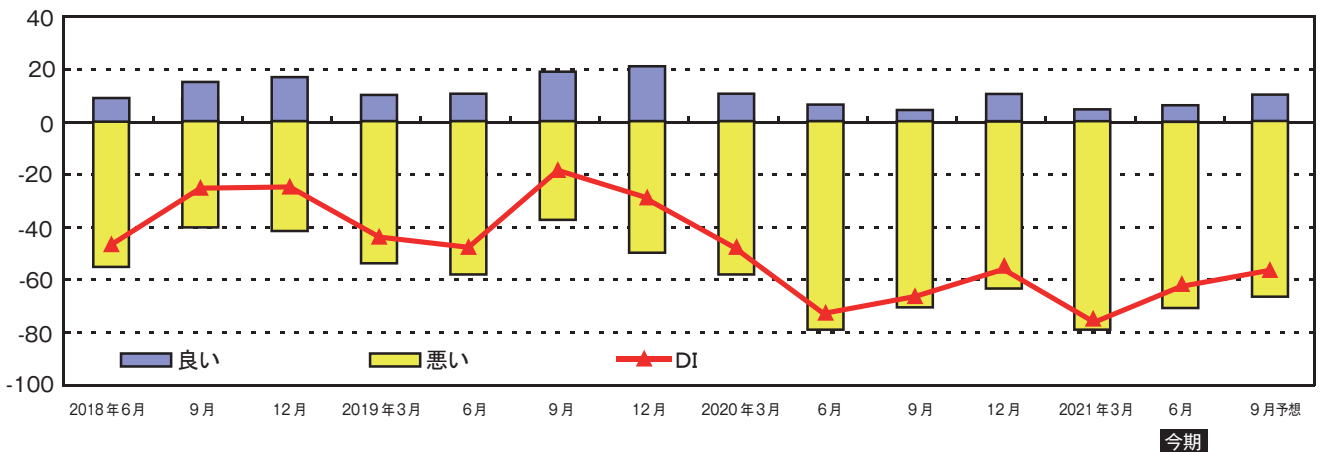
	項目	前期	今期
1	経費を節減する	45.0	45.0
2	販路を広げる	60.0	40.0
2	情報力を強化する	35.0	40.0
2	人材を確保する	30.0	40.0
5	新しい事業を始める	15.0	15.0

調査員のコメント

- 地域内において、同業他社が事業規模を大幅に縮小したことから新規取引先が増加した。しかし、既往顧客に比べ小口先であり顧客管理において従業員の負担が増加した。収益の確保において営業社員の増員は出来ないことから現在の社員規模で営業を続けるための工夫を検討している。（食材・飲料卸売業）
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響はほぼ無くなっている。自社で取扱いしている建築資材の他、介護用品全般について仕入価格が上昇しており利益率が縮小なっている。地域内介護施設に対して内陸地方や他県の同業者からの営業も激しくなっており、これまで以上に販売価格の値引き攻勢も強まっている。（建築材料卸売業）
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、車の買い替え需要が弱く、自動車リサイクル部品が集まりにくい状況が長期間続いており、在庫不測の状況が続いている。同業者間の購入価格も上昇傾向が続いており、販売価格への転嫁が課題となっている。（その他の卸売業）
- 業歴長く、固定先を中心とした受注も安定した状況にある。長年人材不足の状況が続いており、人材確保のため職場環境を改善するなど様々な手段を講じている。しかし、最近入社から短期間のうちに退職する従業員も多く、人件費を上げることなく従業員の定着率を向上させるための方策を検討している。（その他の卸売業）

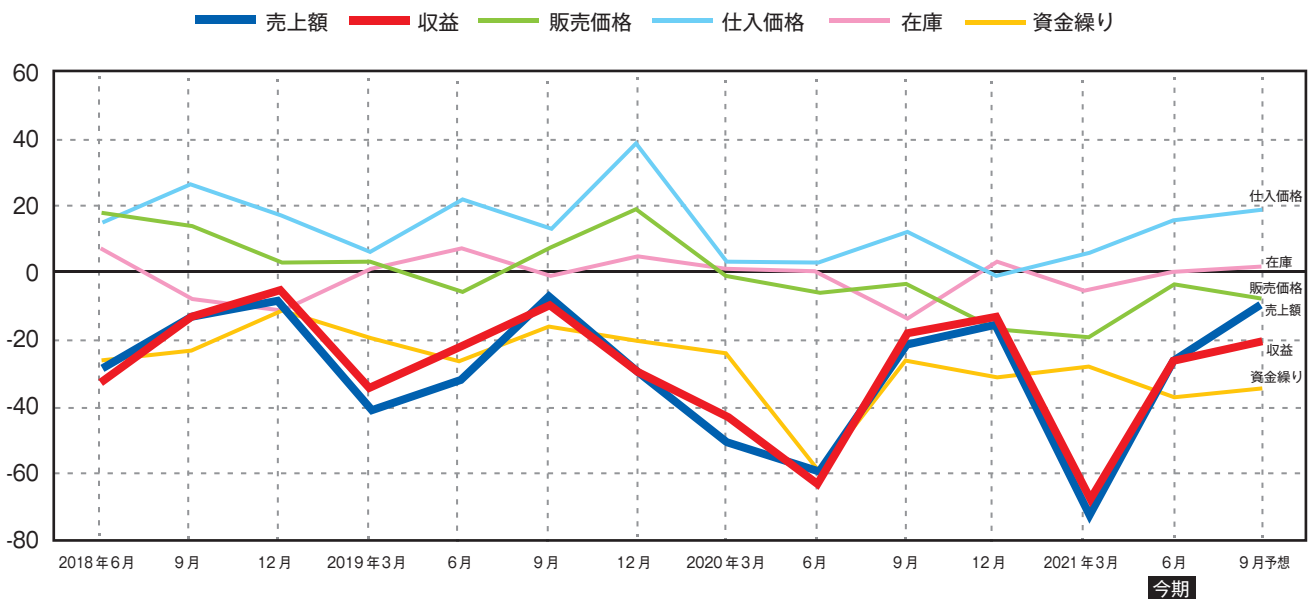
◆◆◆ 小売業 48社

概況判断 前期に比べ業況の悪化幅がやや縮小した。



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業の割合が6.3ポイント、「**悪い**」と回答した企業の割合は70.9ポイントで、業況DI（「**良い**」－「**悪い**」）は▲64.6となり、前期（▲75.0）に比べ10.4ポイントマイナス幅が縮小しました。来期（2021年7～9月）の予想DIは▲56.3で、今期に比べ8.3ポイント改善し、マイナスながら業況の悪化は引き続き改善すると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



前期（2021年1～3月）に比べ、「**売上額**」「**収益**」ともマイナスながら大きく改善しました。「**販売価格**」は前期に比べ下降幅が縮小し、「**仕入価格**」は上昇が拡大しました。「**商品在庫**」については品薄を脱し、「**資金繰り**」はやや窮屈感がやや拡大しました。

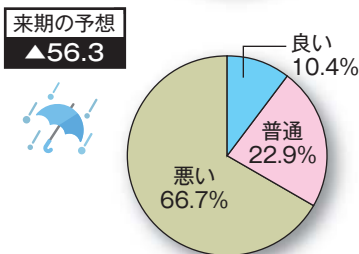
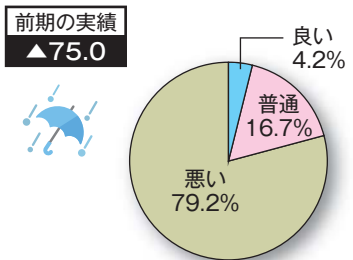
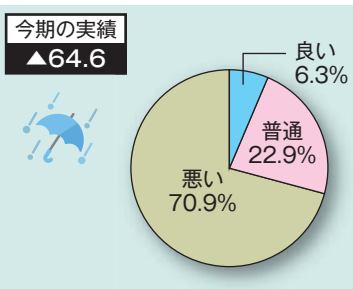
来期の見通し

来期（2021年7～9月）は、「**売上額**」「**収益**」ともにマイナスながら大きく改善すると見通しています。「**販売価格**」の下降幅は拡大すると見通しており、「**仕入価格**」の上昇幅もやや強まると見通しています。

「**商品在庫**」については、過大な状況が続くと予想しており、「**資金繰り**」については、やや窮屈感が弱まると見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較
業況判断 総合		▲64.6	▲75.0	+10.4	▲56.3	+8.3	▲72.9	-8.3
内訳	良い	6.3	4.2	+2.1	10.4	+4.1	6.3	0.0
	普通	22.9	16.7	+6.2	22.9	0.0	14.6	-8.3
	悪い	70.9	79.2	-8.3	66.7	-4.2	79.2	+8.3
売上額		▲31.2	▲75.0	+43.8	▲10.4	+20.8	▲60.4	-29.2
収益		▲29.1	▲70.8	+41.7	▲20.9	+8.2	▲35.4	-6.3
販売価格		▲4.2	▲18.8	+14.6	▲8.4	-4.2	▲6.3	-2.1
仕入価格		16.6	6.2	+10.4	18.7	+2.1	8.3	-8.3
在庫		0.1	▲10.4	+10.5	2.1	+2.0	0.0	-0.1
内訳	過剰	12.6	8.4	+4.2	12.5	-0.1	16.7	+4.1
	適正	75.0	72.9	+2.1	77.1	+2.1	66.7	-8.3
	不足	12.5	18.8	-6.3	10.4	-2.1	16.7	+4.2
資金繰り		▲37.5	▲31.2	-6.3	▲33.3	+4.2	▲48.0	-10.5
残業時間		▲20.8	▲25.0	+4.2	▲10.4	+10.4	▲18.8	+2.0
人手		▲14.6	▲20.8	+6.2	▲16.6	-2.0	▲4.1	+10.5
設備投資		▲18.8	▲20.9	+2.1	▲12.5	+6.3	▲14.5	+4.3
内訳	過剰	2.1	2.1	0.0	4.2	+2.1	2.1	0.0
	適正	77.1	75.0	+2.1	79.2	+2.1	81.3	+4.2
	不足	20.9	23.0	-2.1	16.7	-4.2	16.6	-4.3

経営上の問題点・重点施策

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	64.6	64.6
2	大型店との競争激化	25.0	20.8
2	同業者間の競争激化	12.5	20.8
2	商店街の集客力低下	10.4	20.8
5	利幅の縮小	18.8	18.8

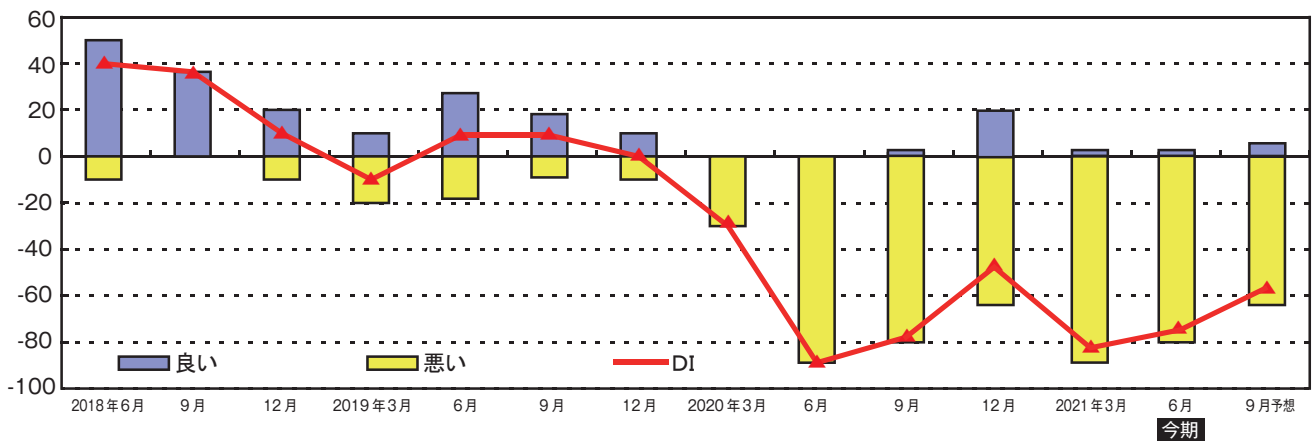
	項目	前期	今期
1	経費を節減する	50.0	60.4
2	売れ筋商品を取り扱う	25.0	41.7
3	品揃えを改善する	25.0	29.2
4	宣伝・広告を強化する	25.0	27.1
5	新しい事業を始める	10.4	14.6

調査員のコメント

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響が一段落し、来店客は少しずつ戻って来ているが、以前の水準には達していない。家で過ごす時間が増えたことから、インテリア関連商品やカーテン・カーペット等の買換え需要が高まった。鶴岡市で行ったpaypayキャンペーンの効果もあり売り上げは増加した。(織物・衣服・身のまわり品小売業)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響は無いものの、固定客の大半が高齢者であり、来店する頻度や購買意欲の低下が感じられ売上高減少している。これまで様々な施策を行ってきたが、新規顧客の開拓には至っていない。商店街としての活動も行き詰っており今後は事業規模を縮小していく見通しである。(織物・衣服・身のまわり品小売業)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きかった昨年と比べると、業況は回復傾向にあり、現段階では増収増益となっている。しかし、今期に従業員が減少したことから人材確保の活動を行ったが達成できなかった。今後は業務の一部を機械化することを検討する等、現在の体制で営業を続ける体制の整備を行っています。(その他の小売業)
- 顧客の内訳として地元に来る観光客が多くを占めていることから、新型コロナウイルス感染拡大の影響による観光客の激減や各種イベントの中止の影響を受け業況は低迷した。新たにテイクアウトの実施や個人顧客の掘り起こしなど対応した結果、売上は増加したが収益は変わらなかったとのこと。(飲食店)

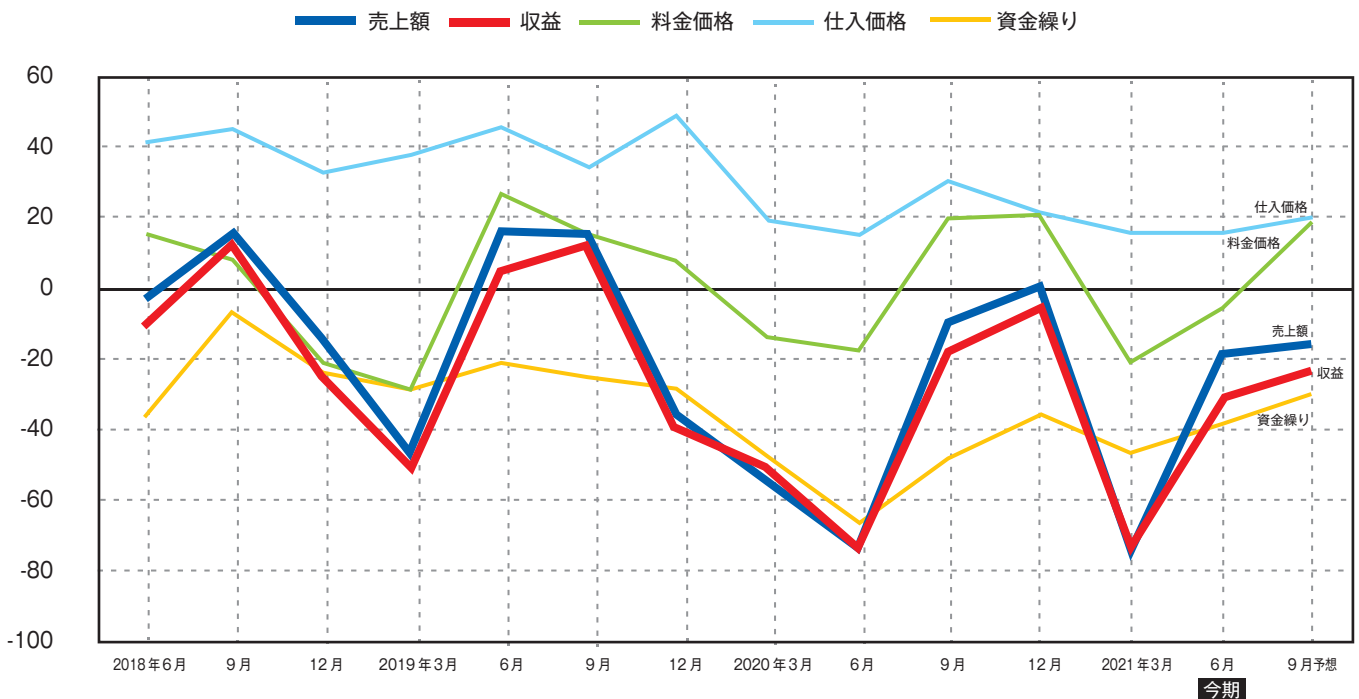
◆ ◆ ◆ サービス業 26社

概況判断 業況はやや改善するも厳しい状況が続いている。



今期の業況判断は、「良い」と回答した企業の割合は3.8ポイント、「悪い」と回答した企業の割合は80.8ポイントで、業況DI（「良い」－「悪い」）は▲77.0となり、前期（▲84.6）に比べ7.6ポイントマイナス幅が縮小しました。来期（2021年7～9月）の予想DIは▲57.7で、業況はマイナスながら改善すると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



前期（2021年1月～3月）に比べ、「売上額」・「収益」は依然としてマイナスながら大きく改善しました。「料金価格」は回復傾向にあるも、「材料価格」は引き続き上昇傾向は改善しませんでした。「資金繰り」については、前期に比べ窮屈感が縮小するも依然として拡大しました。

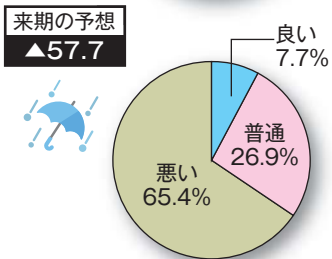
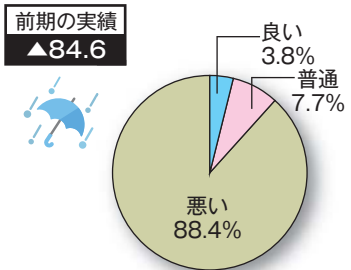
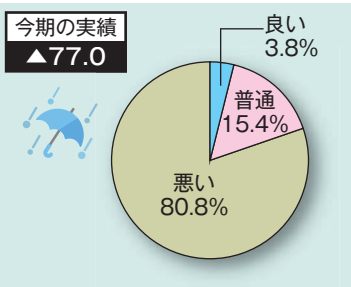
来期の見通し

来期（2021年7～9月）は、「売上額」「収益」共に改善すると見通しています。価格については、「料金価格」は下降から上昇に転じるも、「材料価格」は上昇幅が拡大すると見通しています。

「資金繰り」については、今期に比べ窮屈感が弱まるものの依然として窮屈な状況が続くと見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較
業況判断 総合		▲77.0	▲84.6	+7.6	▲57.7	+19.3	▲14.8	+62.2
内訳	良い	3.8	3.8	0.0	7.7	+3.9	14.8	+11.0
	普通	15.4	7.7	+7.7	26.9	+11.5	55.6	+40.2
	悪い	80.8	88.4	-7.6	65.4	-15.4	29.6	-51.2
売上額		▲19.2	▲73.1	+53.9	▲15.4	+3.8	14.8	+34.0
収益		▲30.8	▲73.1	+42.3	▲23.1	+7.7	3.7	+34.5
料金価格		▲7.7	▲23.1	+15.4	15.4	+23.1	25.9	+33.6
材料価格		15.4	15.4	0.0	19.3	+3.9	44.4	+29.0
資金繰り		▲38.4	▲50.1	+11.7	▲30.8	+7.6	▲22.2	+16.2
残業時間		▲19.2	▲34.6	+15.4	▲3.8	+15.4	▲11.1	+8.1
人手		▲7.7	7.8	-15.5	▲3.9	+3.8	▲29.6	-21.9
設備投資		▲30.8	▲23.1	-7.7	▲34.6	-3.8	▲33.3	-2.5
内訳	過剰	3.8	3.8	0.0	7.7	+3.9	0.0	-3.8
	適正	61.5	69.2	-7.7	50.0	-11.5	66.7	+5.2
	不足	34.6	26.9	+7.7	42.3	+7.7	33.3	-1.3

経営上の問題点・重点施策

順位	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	73.1	80.8
2	利幅の縮小	23.1	23.1
3	人手不足	15.4	19.2
4	同業者間の競争激化	11.5	15.4
4	店舗狭小・設備の老朽化	15.4	15.4

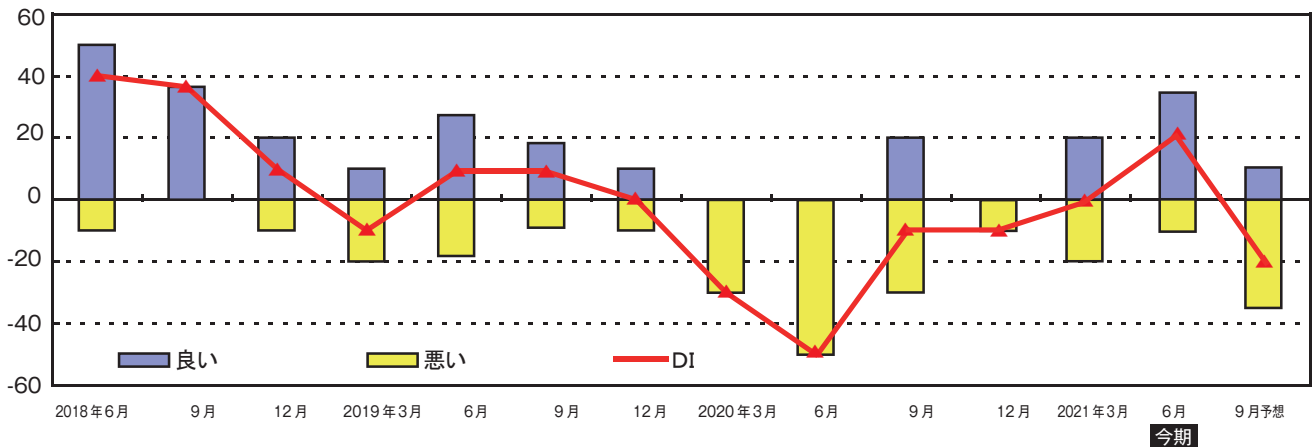
順位	項目	前期	今期
1	経費を節減する	42.3	46.2
2	販路を広げる	50.0	42.3
3	店舗・設備を改装する	19.2	26.9
4	宣伝・広告を強化する	19.2	23.1
5	提携先を見つける	7.7	19.2

調査員のコメント

- 令和3年度第一四半期については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により売上減少の予想をしていたが、イベント中止の告知看板や、新型コロナウイルス罹患防止をPRする看板等の大口注文があったことから対前年同期比較において売上高増加した。今後もコロナウイルス関連の受注が決まっており前年以上の売上を達成できる予定です。
(情報サービス・調査・広告業)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により宿泊予約のキャンセルがあり売上高は大きく減少した。現在、全国的にワクチン接種が進んでいるが、観光客の回復までには相当の期間を要すると考えており、観光客数が上向きになるまで事業を継続できることを最優先として考えている。
(旅館・その他の宿泊所)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により週末のみの営業を余儀なくされ売上高は大きく減少した。現在、旅館の状況であるが、旅館客室等のリニューアル工事の実施や、これまで以上の社員研修を実施することにより、いつでも観光客を受け入れし、これまで以上に満足していただける体制になっているとのこと。今後は新事業への展開も考えており首都圏へのPRもこれまで以上に充実させるとのこと。
(旅館・その他の宿泊所)
- 当地名産である孟宗シーズンを迎えたことで客足は微増した。当面は経費の圧縮に努めながら既存顧客へ県のキャンペーンを利用した宿泊プランを広く提案することで宿泊客の増加を図っていく。また、各種補助金の有効活用を図りコロナ禍に対応した設備の導入を検討している。
(旅館・その他の宿泊所)

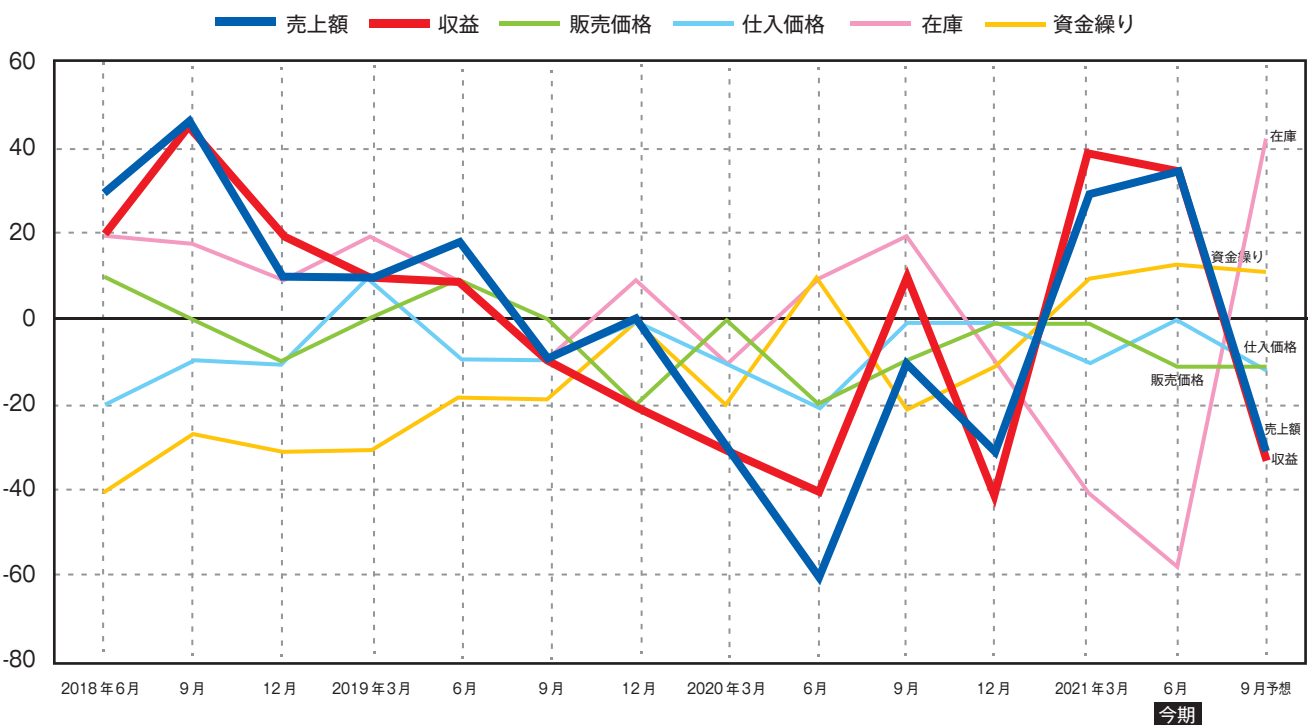
◆◆◆ 不動産業 9社

概況判断 業況は好調感が強まった。



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業は33.3ポイント、「**悪い**」と回答した企業の割合は11.1ポイントで、業況DI（「**良い**」－「**悪い**」）は22.2となり、前期（0.0）に比べ22.2ポイントプラス幅が拡大し、業況は好調感が強まった。来期（2021年7～9月）の予想DIは▲22.2で、今期に比べマイナス幅が44.4ポイント拡大し、業況は再び悪化に転じると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



前期（2021年1～3月）に比べ、「**売上額**」のプラス幅がやや拡大するも「**収益**」は上昇幅が縮小した。「**販売価格**」は下降に転じるも「**仕入価格**」は上昇に転じました。「**在庫**」については品薄感が一段と拡大するも、「**資金繰り**」については、比較的容易な状況が続いています。

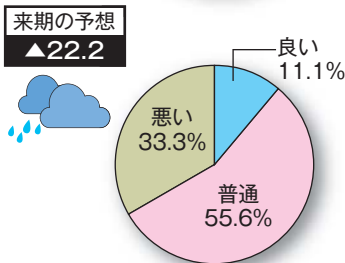
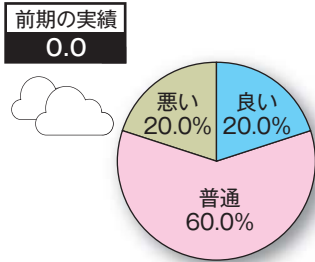
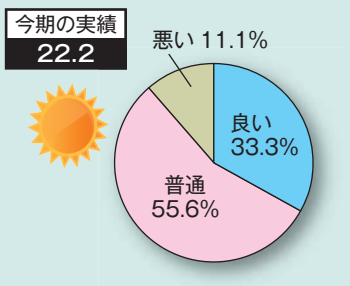
来期の見通し

来期（2021年7～9月）は、「**売上額**」・「**収益**」ともに大きく落ち込みすると見通しています。「**販売価格**」は引き続き改善しないと見通しており、「**仕入価格**」も下降すると見通しています。「**在庫**」については大きく拡大し、在庫過多に転じると見通しており、「**資金繰り**」については引き続き容易な状況が続くと見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)

(%)



	今期の実績	前期の実績	前期比較	来期の予想	来期予想比較	前年同期実績	前年同期比較
業況判断 総合	22.2	0.0	+22.2	▲22.2	-44.4	▲60.0	-82.2
内訳	良い	33.3	20.0	+13.3	11.1	-22.2	0.0
	普通	55.6	60.0	-4.4	55.6	0.0	40.0
	悪い	11.1	20.0	-8.9	33.3	+22.2	60.0
売上額	33.3	30.0	+3.3	▲33.3	-66.6	▲40.0	-73.3
収益	33.3	40.0	-6.7	▲33.3	-66.6	▲50.0	-83.3
販売価格	▲11.1	0.0	-11.1	▲11.1	0.0	▲30.0	-18.9
仕入価格	0.0	▲10.0	+10.0	▲11.1	-11.1	▲20.0	-20.0
在庫	▲55.6	▲40.0	-15.6	44.4	+100.0	▲10.0	+45.6
内訳	過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	+10.0
	適正	44.4	60.0	-15.6	55.6	+11.2	70.0
	不足	55.6	40.0	+15.6	▲44.4	-100.0	20.0
資金繰り	11.1	10.0	+1.1	11.1	0.0	10.0	-1.1
残業時間	▲11.1	10.0	-21.1	0.0	+11.1	▲10.0	+1.1
人手	0.0	▲30.0	+30.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点・重点施策

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	30.0	55.6
2	商品物件の不足	20.0	44.4
3	利幅の縮小	20.0	33.3
4	大手企業競争激化	10.0	22.2
4	問題なし	30.0	22.2

	項目	前期	今期
1	情報力を強化する	60.0	55.6
2	販路を広げる	40.0	44.4
3	経費を節減する	30.0	22.2
3	宣伝・広告を強化する	30.0	22.2
3	特になし	10.0	22.2

調査員のコメント

- 地元の不動産業者として老舗的な存在であり、長年の営業により多くの不動産情報を有しており、毎期の売上も堅調に推移している。賃貸物件の契約では店舗に来店せずリモート対応とするなど新しい取り組みが浸透しており、自社においても今後はIT・デジタル対応の取組み強化が課題となっています。（その他の不動産業）
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響は特段感じられない。分譲地造成の需要多く自社で新たに分譲した物件も好調な販売状況であり、今期の増収につながっている。今後も分譲地需要は当分続くと見込んでおり新たな分譲地開発について社を挙げて取り組みしている。（その他の不動産業）

大型小売店の売上状況

(単位:百万円・%)

	山形県		東北	
	金額	前年同月比増減率	金額	前年同月比増減率
2020/3	11,681	△6.2	108,982	△4.6
4	11,021	△6.4	99,387	△6.2
5	12,067	△1.3	106,570	△1.8
6	11,629	△3.2	109,382	1.1
7	11,415	△3.7	110,122	0.2
8	12,702	△3.8	116,921	0.2
9	11,164	△8.4	102,490	△7.5
10	11,422	0.7	106,085	4.7
11	11,258	△1.0	107,871	△0.1
12	13,947	△3.0	134,787	△0.7
2021/1	11,763	0.2	9,673	△1.4
2	10,625	0.1	98,979	△3.3
3	11,679	△0.1	108,869	△0.2
4	11,361	3.1	103,503	4.1

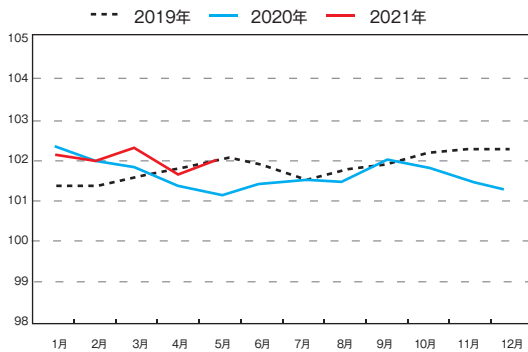
資料：東北経済産業局

(注)イ対象店舗数に変動があるため前年比は同一店舗比較
ロ売上高には消費税含む

消費者物価指数の推移

	山形県			全国		
	指数	対前月比上昇率	対前年同月比上昇率	指数	対前月比上昇率	対前年同月比上昇率
2020/3	101.8	△0.2	0.1	101.9	0.0	0.4
4	101.4	△0.4	△0.5	101.9	△0.1	0.1
5	101.2	△0.2	△0.9	101.8	0.0	0.1
6	101.4	0.3	△0.5	101.7	△0.1	0.1
7	101.6	0.2	0.0	101.9	0.1	0.3
8	101.5	0.0	△0.3	102.0	0.2	0.2
9	102.0	0.4	0.1	102.0	△0.1	0.0
10	101.8	△0.2	△0.4	101.8	△0.1	△0.4
11	101.5	△0.3	△0.8	101.3	△0.5	△0.9
12	101.3	△0.2	△1.0	101.1	△0.3	△1.2
2021/1	102.1	0.8	△0.3	101.6	0.5	△0.6
2	102.0	△0.1	0.0	101.6	0.0	△0.4
3	102.3	0.4	0.5	101.8	0.2	△0.2
4	101.7	△0.6	0.3	101.4	△0.3	△0.4
5	102.0	0.3	△0.1	101.7	0.3	△0.1

消費者物価指数(山形県)



(指数:2015年)

2016年7月分から、指数の基準時参照年次が2015年に変更になりました。
※2009年3月分で山形県各市の消費者物価指数の公表が終了し、公表が山形市のみとなったため、2009年4月より、山形市のデータをもって山形県とする。

資料:総務省統計局消費統計課物価統計室

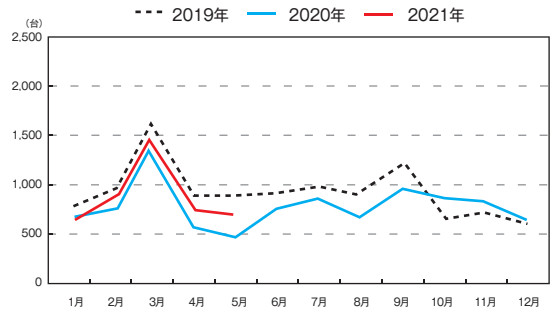
自動車の販売状況 新車販売(登録・届出)台数の推移

(単位:台・%)

	庄内地区						山形県					
	乗用		軽四輪		合計		乗用		軽四輪		合計	
	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率
2020/3	678	△19.8	660	△14.8	1,338	△17.0	3,361	△17.6	2,741	△14.5	6,102	△16.2
4	311	△18.6	246	△45.3	557	△33.0	1,514	△24.3	1,028	△36.7	2,542	△31.2
5	279	△34.5	199	△51.6	478	△42.8	1,283	△38.5	864	△51.1	2,147	△44.3
6	349	△19.8	427	△10.5	776	△14.9	1,680	△25.9	1,706	△16.4	3,386	△21.4
7	404	△21.9	438	△5.8	842	△14.3	1,968	△17.8	1,776	△0.4	3,744	△18.4
8	323	△21.8	341	△13.2	664	△17.6	1,625	△18.3	1,477	△8.4	3,102	△21.1
9	473	△14.0	523	△16.7	996	△15.4	2,476	△11.1	2,173	△10.0	4,649	△10.5
10	471	44.5	405	13.1	876	28.0	2,240	41.2	1,790	26.3	4,030	34.1
11	387	6.9	452	20.5	839	13.8	2,010	10.5	1,985	22.9	3,995	16.3
12	348	5.5	347	14.1	695	9.6	1,747	△2.8	1,650	30.1	3,397	10.7
2021/1	289	△5.9	334	3.4	623	△15.0	1,600	4.5	1,556	13.1	3,156	8.5
2	460	7.0	417	△2.1	877	16.4	2,032	2.4	1,897	8.1	3,929	5.0
3	724	6.8	758	14.8	1,482	10.7	3,425	7.9	3,315	20.9	6,740	10.4
4	338	8.7	376	52.8	714	28.1	1,628	7.5	1,546	50.4	3,174	24.8
5	279	0.0	383	92.5	662	38.4	1,526	18.9	1,778	105.8	3,304	53.8

資料：庄内自動車検査登録事務所

庄内地区新車販売(登録・届出)台数



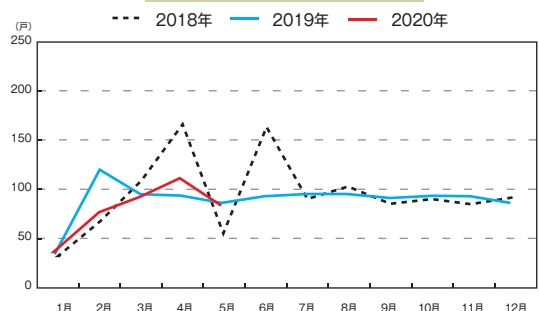
新設住宅着工戸数

(単位:戸・%)

	鶴岡市		酒田市		庄内地区		山形県	
	着工戸数	前年同月比増減率	着工戸数	前年同月比増減率	着工戸数	前年同月比増減率	着工戸数	前年同月比増減率
2020/4	59	7.2	28	△71.4	91	△44.1	543	7.5
5	37	68.1	31	72.2	84	58.4	367	△33.8
6	44	△27.8	33	△64.1	94	△41.9	456	△42.5
7	56	64.7	31	△41.5	97	8.9	456	△0.2
8	50	△27.5	36	12.5	97	△4.9	540	7.3
9	40	8.1	40	25.0	82	7.8	407	△23.6
10	32	△25.5	50	61.2	92	10.8	441	19.8
11	41	△10.8	43	115.0	91	15.1	380	△20.8
12	44	12.8	24	△51.0	80	△11.1	356	△19.6
2021/1	16	△33.3	21	110.0	39	8.3	238	8.1
2	36	△40.0	30	△41.1	75	△38.0	364	△14.3
3	38	△25.4	48	45.4	93	△3.1	362	△12.5
4	48	△18.6	37	32.1	108	28.5	455	△16.2
5	57	54.0	20	△35.4	82	△2.3	360	△1.9

資料：山形県土木部建築住宅課

新設住宅着工戸数(庄内地区)



求人・求職者の動き

(単位:人・%)

鶴岡	新規求人		新規求職申込み件数		月間有効求人人数		月間有効求職者数	
	人数	前月同月比較増減率	人数	前月同月比較増減率	人数	前月同月比較増減率	人数	前月同月比較増減率
2020/4	929	△23.3	678	△6.5	2,723	△16.3	2,037	△3.1
5	689	△32.0	472	△18.3	2,364	△21.4	2,009	△3.2
6	1,021	△6.5	550	16.8	2,436	△18.9	2,030	1.8
7	859	△27.1	471	△16.3	2,324	△23.5	1,956	△1.6
8	816	△18.7	453	7.1	2,399	△20.1	1,943	5.5
9	954	△15.6	495	△4.3	2,512	△17.6	1,995	5.1
10	1,018	△5.1	512	△11.7	2,640	△11.5	2,019	3.1
11	768	△18.2	414	△9.2	2,533	△14.4	1,959	1.4
12	825	△20.0	338	△22.8	2,429	△14.2	1,806	△0.2
2021/1	926	△13.6	453	△21.1	2,383	△17.1	1,720	△7.7
2	924	△10.0	549	8.5	2,519	△13.8	1,821	△2.6
3	1,111	△2.9	629	△0.6	2,827	△6.0	2,050	0.5
4	1,003	8.0	691	1.9	2,702	△0.8	2,147	5.4
5	862	25.1	419	△11.2	2,118	10.7	1,983	△1.3

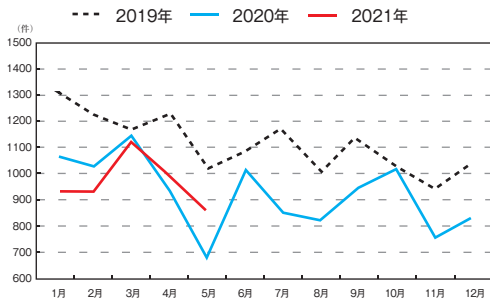
資料:ハローワーク鶴岡

(単位:人・%)

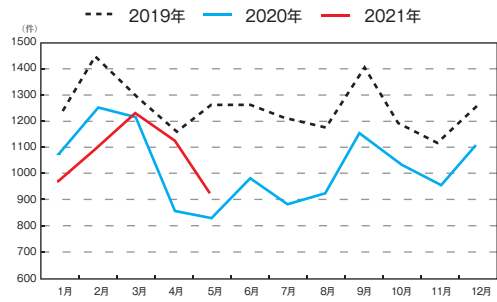
酒田	新規求人		新規求職申込み件数		月間有効求人人数		月間有効求職者数	
	人数	前月同月比較増減率	人数	前月同月比較増減率	人数	前月同月比較増減率	人数	前月同月比較増減率
2020/4	859	△25.5	705	△5.7	2,897	△16.2	2,156	△7.2
5	815	△35.5	520	△7.5	2,310	△31.4	2,165	△4.7
6	982	△22.2	549	△2.1	2,361	△30.1	2,187	△0.0
7	898	△25.4	521	△17.4	2,488	△26.0	2,189	△2.8
8	918	△22.3	451	△11.9	2,541	△23.9	2,135	△1.7
9	1,153	△17.6	504	△7.9	2,750	△22.7	2,220	1.9
10	1,038	△13.0	578	△9.3	2,838	△17.4	2,260	3.5
11	958	△13.4	430	△15.5	2,803	△18.0	2,155	0.8
12	1,102	△12.6	402	△15.7	2,866	△13.3	2,054	1.7
2021/1	976	△9.6	510	△19.9	2,822	△10.6	1,993	△0.9
2	1,094	△12.9	519	△5.3	2,976	△11.1	2,038	△0.2
3	1,229	1.7	596	5.9	3,063	△4.4	2,162	3.0
4	1,118	30.2	738	4.7	3,121	7.7	2,292	6.3
5	919	12.8	532	2.3	2,997	29.7	2,249	3.9

資料:ハローワーク酒田

新規求人人数(鶴岡)



新規求人人数(酒田)



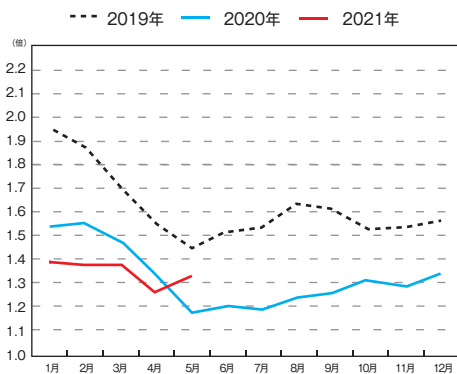
月間有効求人倍率の推移(鶴岡・酒田)

(単位:倍)

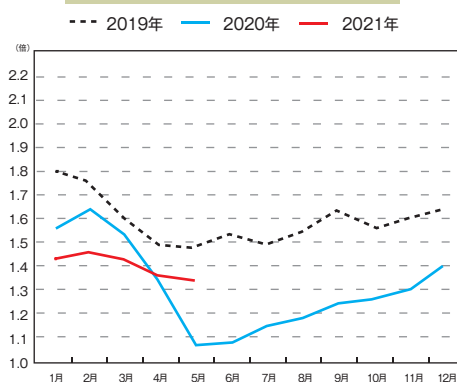
	鶴岡						酒田					
	2019年度		2020年度		2021年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	倍率	対前年同月比	倍率	対前年同月比	倍率	対前年同月比	倍率	対前年同月比	倍率	対前年同月比	倍率	対前年同月比
4月	1.55	△0.38	1.34	△0.21	1.26	△0.08	1.49	0.03	1.34	△0.15	1.36	0.02
5月	1.45	△0.55	1.18	△0.27	1.32	0.60	1.48	0.00	1.07	△0.41	1.33	0.26
6月	1.51	△0.52	1.20	△0.31			1.54	0.07	1.08	△0.46		
7月	1.53	△0.50	1.19	△0.34			1.49	△0.12	1.14	△0.35		
8月	1.63	△0.36	1.23	△0.40			1.54	△0.21	1.19	△0.35		
9月	1.61	△0.39	1.26	△0.35			1.63	△0.14	1.24	△0.31		
10月	1.52	△0.38	1.31	△0.21			1.57	△0.21	1.26	△0.42		
11月	1.53	△0.41	1.29	△0.24			1.60	△0.21	1.30	△0.30		
12月	1.56	△0.37	1.34	△0.22			1.64	△0.20	1.40	△0.24		
1月	1.54	△0.41	1.39	△0.15			1.57	△0.23	1.42	△0.15		
2月	1.56	△0.32	1.38	△0.18			1.64	△0.13	1.46	△0.18		
3月	1.47	△0.23	1.38	△0.09			1.53	△0.07	1.42	△0.11		

(パートを含む常用)
資料:
ハローワーク鶴岡・酒田

月間有効求人倍率(鶴岡)



月間有効求人倍率(酒田)



特別調査「中小企業の事業継続について」

問1.
貴社は、現下の状況を受けて、事業継続についてどう感じていますか。
また、貴社の業歴についてお答えください。

<事業継続>	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 強く危機を感じている	22.9	15.6	9.7	25.0	29.2	42.3	0.0
2. やや危機を感じている	44.0	50.0	51.6	45.0	41.7	38.5	22.5
3. あまり危機を感じていない	27.7	18.8	35.5	30.0	27.1	11.5	77.8
4. まったく危機を感じていない	2.4	9.4	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
5. むしろ好機と感じている	3.0	6.3	0.0	0.0	2.1	7.7	0.0
<貴社の業歴>							
6. 10年未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 10年以上 30年未満	12.0	21.9	16.1	10.0	2.1	7.7	33.3
8. 30年以上 50年未満	40.4	34.4	45.2	45.0	45.8	30.8	33.3
9. 50年以上 100年未満	38.6	34.4	38.7	35.0	43.8	38.5	33.3
0. 100年以上	9.0	9.4	0.0	10.0	8.3	23.1	0.0

問4.
貴社が事業継続計画（BCP）を作成（予定を含む）している場合は1～6の中から、また、作成していない場合は現在の業況について7～0の中から1つお選びください。

<BCPを作成（予定）している>	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 行政からの薦め	20.0	16.7	12.5	66.7	0.0	20.0	0.0
2. 業界団体からの薦め	40.0	33.3	62.5	0.0	50.0	20.0	100.0
3. 取引先からの要求	12.0	0.0	0.0	33.3	0.0	40.0	0.0
4. 他社が災害・被害を受けた	8.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 自社が災害・被害にあった	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
6. その他	16.0	16.7	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0
<BCPを作成していない>							
7. 日常業務が忙しく余裕がない	21.3	15.4	30.4	23.5	21.7	9.5	37.5
8. 作成のための人材がいない	10.6	15.4	13.0	17.6	4.3	9.5	12.5
9. BCPについてよくわからない	44.0	46.2	43.5	29.4	45.7	57.1	25.0
0. 当社には必要ない	24.1	23.1	13.0	29.4	28.3	23.8	25.0

問2.
貴社では、事業継続を困難化させる要因について、どんなリスクを重視していますか。最もあてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。

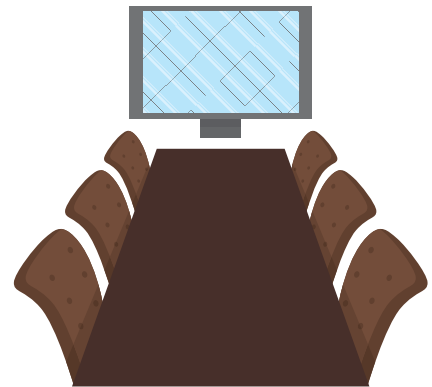
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 事業所の使用不能	6.6	12.5	3.2	10.0	0.0	15.4	0.0
2. 経営者の離脱	16.3	12.5	12.9	25.0	16.7	15.4	22.2
3. 仕入や調達の困難化	21.7	21.9	25.8	45.0	18.8	3.8	22.2
4. 社内の不正行為	3.0	0.0	6.5	0.0	2.1	0.0	22.2
5. インフラ（電気・水道・通信等）の障害	5.4	12.5	0.0	5.0	6.3	3.8	0.0
6. 物流の停止	14.5	9.4	19.4	30.0	8.3	15.4	11.1
7. 従業員の参集不能	16.3	18.8	22.6	10.0	10.4	26.9	0.0
8. 販売先の倒産	15.7	15.6	16.1	20.0	22.9	3.8	0.0
9. 社内設備やシステムの故障	13.3	21.9	6.5	0.0	14.6	23.1	0.0
0. 特にリスクは意識していない	42.8	40.6	54.8	20.0	50.0	38.5	33.3

問5.
貴社では、事業継続にあたって、常日頃から頼りにしている相談先がありますか。最もあてはまるものを最大3つまでお答えください。

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 地方自治体	2.4	3.1	3.2	0.0	2.1	3.8	0.0
2. 商工会・商工会議所	16.9	9.4	12.9	10.0	33.3	11.5	0.0
3. 業界団体・同業他社	13.3	12.5	16.1	10.0	12.5	15.4	11.1
4. 取引先	11.4	6.3	9.7	15.0	14.6	15.4	0.0
5. 警察署・消防署	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
6. 金融機関	39.2	34.4	29.0	55.0	33.3	50.0	55.6
7. 税理士・公認会計士	60.8	53.1	67.7	60.0	56.3	65.4	77.8
8. 弁護士	3.6	3.1	3.2	0.0	0.0	7.7	22.2
9. 診断士等コンサルタント	3.6	6.3	0.0	5.0	6.3	0.0	0.0
0. 特になし	22.9	34.4	16.1	20.0	25.0	15.4	22.2

問3.
貴社では、災害に備え、どのような対策を取っていますか。最もあてはまるものを3つまでお答えください。

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 建物や設備の耐震化	12.7	6.3	9.7	5.0	12.5	30.8	11.1
2. 技術や情報のバックアップ	21.1	31.3	22.6	20.0	12.5	23.1	22.2
3. 社内の連絡体制の整備	24.7	21.9	35.5	25.0	14.6	34.6	22.2
4. 損害保険への加入	48.2	37.5	51.6	50.0	52.1	50.0	44.4
5. 必要な資金の確保	15.1	25.0	3.2	20.0	20.8	0.0	22.2
6. 取引先との事前の協議	5.4	0.0	9.7	5.0	8.3	3.8	0.0
7. 原材料等の代替調達先確保	3.6	3.1	9.7	0.0	4.2	0.0	0.0
8. 自然災害を想定した訓練	8.4	3.1	12.9	5.0	4.2	23.1	0.0
9. その他	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0
0. 特に対策は取っていない	29.5	40.6	25.8	30.0	29.2	23.1	22.2



第188回 中小企業の景気動向

発行所 鶴岡信用金庫
郵便番号 997-0035
山形県鶴岡市馬場町1番14号
電話 0235-22-2360(代表)
担当部 総合企画部
電話 0235-22-2680(直通)
ホームページ <https://www.tsuruoka-sk.jp/>

2021年7月発行